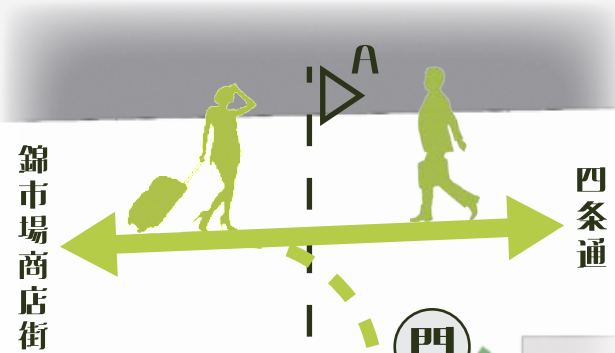




四条通

門

緑側

地域の奥座敷

生活景でもてなす スキマの木の床

背景・課題

京都は世界的な観光都市である一方、オーバーツーリズムによる都市の過密化・過情報化という課題を抱えている

喧騒と情報に溢れた都市では、訪れた人々に限らず、そこに住む住民も安らげる静かな居場所を求めている

この提案では、京都の都市の中に忘れ去られたように存在する「旗竿地」に着目した

その多くが駐車場など限定的な用途に留まっているが、この都市の『隙間』こそ喧騒から逃れられる潜在的な価値を持つ空間だと考えた

設計趣旨

旗竿地という都市の奥まった『隙間』を、日本家屋における大切な客人をもてなす空間である『奥座敷』として再解釈した

地域住民のありのままの日常＝生活景が過密な都市に疲れた来訪者を優しく受け入れることはある種のもてなしである

観光のための施設の提供ではなく、住民と来訪者が同じ『場』をただ共有する

その上で、『借景』によって同じ景色の中に心を寄せる行為が、互いの『活動』から滲み出す気配が、場の空気をより豊かなものへと変えていく

互いの存在を穏やかに感じながら空間を共有する、新しい形の『地域のもてなし空間』を提案する

門



京都の北山丸太と京町屋の格子で設えた街と奥座敷とをつなぐ結界
奥に広がる空間の気配を柔らかに感じさせる

緑側

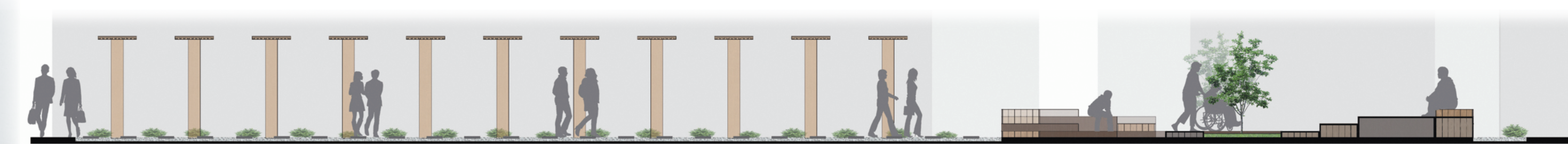


砂利を踏む音、飛び石の感触、門から差し込む光…
五感が忙しなから段々と解放されていく、静寂へと至るためのアプローチ

奥座敷



身体に馴染む「京間」の寸法が、座る、寝転ぶといった自然な「生活景」を誘う
透棚のような段々ベンチは、人々が思い思いに過ごすための自由な居場所となる
夜には足元の光が空間を照らし、夜間にこそ賑やかになる繁華街から切り離された深い静寂を生む



A-A' 断面図 s=1/100



B-B' 断面図 s=1/100

場 + 借景

共有することで互いの存在を穏やかに感じる

住民：日常の余白

来訪者：喧騒からの逃れ

場の設計

敷地は、四条通と錦市場の喧騒に接し、周囲を集合住宅に囲まれている「圧倒的な公」と「穏やかな私」が隣接していることを理由に選定した

地域住民の日々の生活の延長にあり、特別な目的がなくとも、気軽に立ち寄り、腰を下ろせる「日常の余白」の場になる

来訪者にとっては、消費を目的としない「予期せぬ隠れ家」の場になる

誰かをもてなす特別な設えをせず、井戸端会議やカップルの談笑、子と遊ぶ親といった、住民の日常のすぐ隣に来訪者がそっと腰を下ろすという、生活景に居合わせる場を提供する

日本家屋の奥座敷へ至る流れに倣うことで来訪者の心を整え、空間の奥行きと格式のあるもてなしを実現する



錦市場商店街

当該敷地

集合住宅

四条通

借景の設計

『借景』は、地域の人々が愛着を持つ風景を共有するための「窓」として機能
門と周囲の建物によって四角く切り取られたフレームは、ありふれた日常の風景の価値を来訪者と静かに分かち合うことを可能にする

借景

奥座敷

比叡山を望む — 古来からの借景の手法



都市の建物群の向こうに見える雄大な自然は、この小さな空間に圧倒的な奥行きと安らぎを与える遠くのを近くに引き寄せ、スケールを超えた豊かさを生み出す
人々がその場所で同じものを見て同じように美しいと感じる体験は、目に見えない共同体意識を育む

平安神宮の大鳥居を望む — 現代的借景への拡大解釈



巨大な鳥居が門と周囲の建物の壁面で切り取られることで住民にとって、見慣れたものを新しい視点で見せることができる
地域の文化的な豊かさを再発見させ地域への関心と誇りを呼び起こす
遠景だけでなく、近景にある文化的アイコンの持つ力を借りる新しい借景のあり方の提案

活動の設計

この計画の『緑側』として想定していたアプローチ部分に店舗を構えることで『活動』の質をより高める
店舗という明確な目的を持つ空間が加わることで、来訪者と地域の関わり方に「選択肢」が生まれる

店舗

奥座敷

昼の活動 — 交流の活気を分かち合う



店内で交わされる会話、商品を介して生まれる人の賑わいは奥の木の床空間へと滲み出す
来訪者はその活気に身を置くこともあるいは木の床からその日常風景を眺めることもできる
地域の活気ある日常に参加またはそれを穏やかに享受
そのどちらも受け止める場を提供

夜の活動 — 静寂を味わうための隠れ家



店舗から漏れる光や足元の照明が空間を柔らかく照らし周囲の喧騒から守られた「隠れ家」としての性格を強める
一人静かに読書をしたり、少人数で語ったりと、多様な静寂を味わう
夜の都市における、自分の時間を過ごせる、穏やかな「活動」の場を提供

配置図 s=1/100